

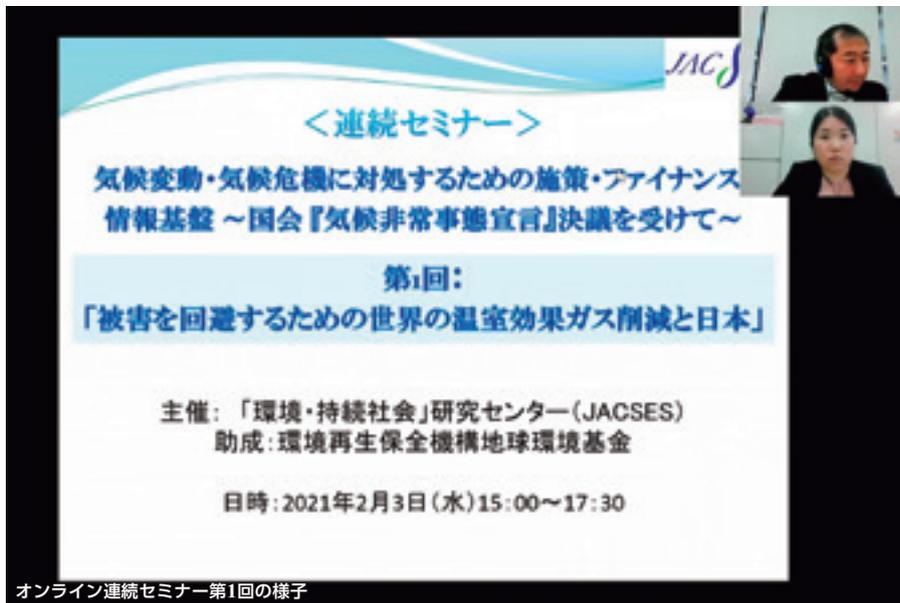
(特非) 「環境・持続社会」研究センター (JACSES)

地球規模での気候変動対策推進のための途上国の効果的な気候変動対策強化/透明性向上に向けた日本と国連資金メカニズム (GEF・GCF)・イニシアティブ (CBIT等) の取組/連携強化のための調査研究・提言・啓発

活動地域  日本全域

ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発

連続セミナー参加者	270人
メディア掲載/寄稿/会合招聘	12回
今年度計画の達成度	95%
目標達成度	90%



オンライン連続セミナー第1回の様子

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

新型コロナウイルス蔓延によって活動のオンライン化を進めたが、セミナーを円滑に開催するため、Zoomウェビナーの使い方を把握するのに苦勞した。

■ 工夫した点

オンラインセミナー開始前後に参加者への案内を表示し、唐突感をなくすようにした。また、国内外での情報・提言発信力を高めるため、提言の動画作成や英語翻訳を行った。

課題

世界全体の気候変動対策推進には途上国の対策強化が急務。より効果的な資金・対策支援のために、日本と国際機関等の戦略的連携と途上国の透明性向上支援が必要。

目標

日本の国際機関等との連携強化、途上国対策支援及び透明性向上のためのパートナーシップ拡大、国内で気候資金及び途上国の透明性/能力向上への関心・理解促進。

活動内容と成果

以下を実施し、発表した提言に対し一定の理解・評価を得られ、日本による途上国の透明性向上/資金支援等に関する政策進展に寄与できた。

- 政策担当者、事業者、NGO/NPO、研究機関、メディア等と意見交換を重ね、その結果を反映した提言ver6を発表
- 国連経済社会理事会への声明等、英語提言も発表
- 提言普及のため、調査提言レポートや動画を作成
- 国会気候非常事態宣言決議を受けたオンライン連続セミナーを2021年2月に開催
- 講演や寄稿を通じた情報/提言発信



オンライン連続セミナー第2回の様子



全助成期間の活動を振り返って

地球環境ファシリティアや緑の気候基金といった気候変動関連の国際機関との連携が進んだ点や、日本のステークホルダーの関心・理解の高まり、測定・報告・検証に関する能力構築等を支援するパートナーシップ参加国の増加等に寄与することができたと思う。また、気候変動はSDGsの目標13であり、SDGsの他ゴール (ジェンダー・水・防災等) に取り組む方々とのネットワークが構築され、本活動の効果拡大も見込まれる。

〒107-0052
東京都港区赤坂1-4-10赤坂三鈴ビル2階
電話: 03-3505-5552
E-mail: jacses@jacses.org
HP: http://jacses.org/



今後の展望

日本の2050年温室効果ガス実質ゼロ表明や国会の気候非常事態宣言によって、気候変動に対する関心は今までになく高まっていると感じる。しかし、気候変動以外にも取り組むべき課題は多く、新型コロナウイルス蔓延によって社会の脆弱性にも注目が集まっている。今後は気候変動とSDGsの他目標との同時達成に向けて何が必要か、多様なステークホルダーと対話を行い、真摯に検討を重ねていきたい。